

「認知症治療」の最前線!!

宇治おうばく病院でできる認知症治療

宇治おうばく病院では、「認知症」の治療にも
とても力を入れて取り組んでいます。
今回は、最新の「認知症治療」を特集します!



外来治療と入院治療

宇治おうばく病院での認知症治療

当院では、認知症の患者様に対して外来診療及び入院治療の両面から対応しています。

外来では、認知症の確定診断や運転免許証更新に伴う評価目的で来院される方も多く、心理検査、MRI、脳波検査等の各種検査体制を整えています。確定診断のみの方もあれば、定期的に物忘れ外来に通院をされている方もおられます。

行動・心理症状といった認知症に伴う周辺症状（BPSD）に対しては、入院による治療も行っています。入院治療は、精神一般（身体合併症）病棟【A2病棟】と認知症治療病棟【C6病棟】で主に受け入れています。それぞれの病棟で、特色のある治療を行っています。

精神一般（身体合併症）病棟【A2病棟】

多くの場合、まずは精神一般（身体合併症）病棟が入口となります。これは認知症と言っても症状や状態が多様であり、身体ケアを優先する必要があるケースが少なくないためです。例えば、お一人暮らしで食事や水分がとれず、脱水状態で発見された方にはモニタリングや24時間の点滴管理が可能な環境を整えます。また、施設などで興奮や大声などの症

状が見られる方には個室対応など、その方の状態に応じた治療環境を提供しています。

認知症治療病棟【C6病棟】

身体状態が安定し、治療がある程度進んだ段階で認知症治療病棟へ移動となります。認知症治療病棟は4人部屋を中心とした構成で、廊下やデイルームを広く確保し、ゆとりある空間作りを行っています。回廊式の廊下は、安全に歩行練習できる環境になっており、リハビリテーションや施設生活への適応に向けた準備にも役立ちます。通常の作業療法に加え、回想法を行っているのも特長です。薬物療法の他にも精神療法にて安心感、孤独感の軽減を目指しています。当院に入院される患者様の多くが中等度から

重度の認知症の方で、約9割が施設入所を目標とされています。そのため、安心して生活機能の回復や維持に取り組みめる環境を整えることを大切にしています。

